

平成21年 9月 9日

国土交通省 岩手河川国道事務所

記者発表資料

磐井川の流れを人工水路へ転流いたします。

～市野々原地区 河道閉塞（天然ダム）対策工事～

国土交通省岩手河川国道事務所では、昨年6月14日の岩手・宮城内陸地震で発生した市野々原地区の河道閉塞について、今後起こりうる二次災害から一関市街地を保全するため、2戸の家屋移転にご協力いただきながら、新しい河道の整備を行っています。

9月11日（金）9時30分頃、現在の磐井川の流れを人工水路（樹脂製の管：直径1.0m×延長265m×3本）へ転流いたします。これにより、現在の河道の埋土が可能となり、新河道の整備を本格化することができます。

※9月11日（金）9時30分頃から30分間程度、転流工の取材が可能です。工事現場内への立入となりますので、ヘルメット、長靴の持参をお願いします。駐車スペース・集合場所は2ページ目下の写真をご参照下さい。

発表記者會： 岩手県政記者クラブ、一関市政クラブ

問い合わせ先

○国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

住所：盛岡市上田四丁目2-2（電話：019-624-3198）

建設専門官 桜田 勉（内線505）

○国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 一関出張所

住所：一関市狐禅寺石ノ瀬155-81（電話：0191-23-2435）

一関出張所長 高橋 忠良（内線6221）

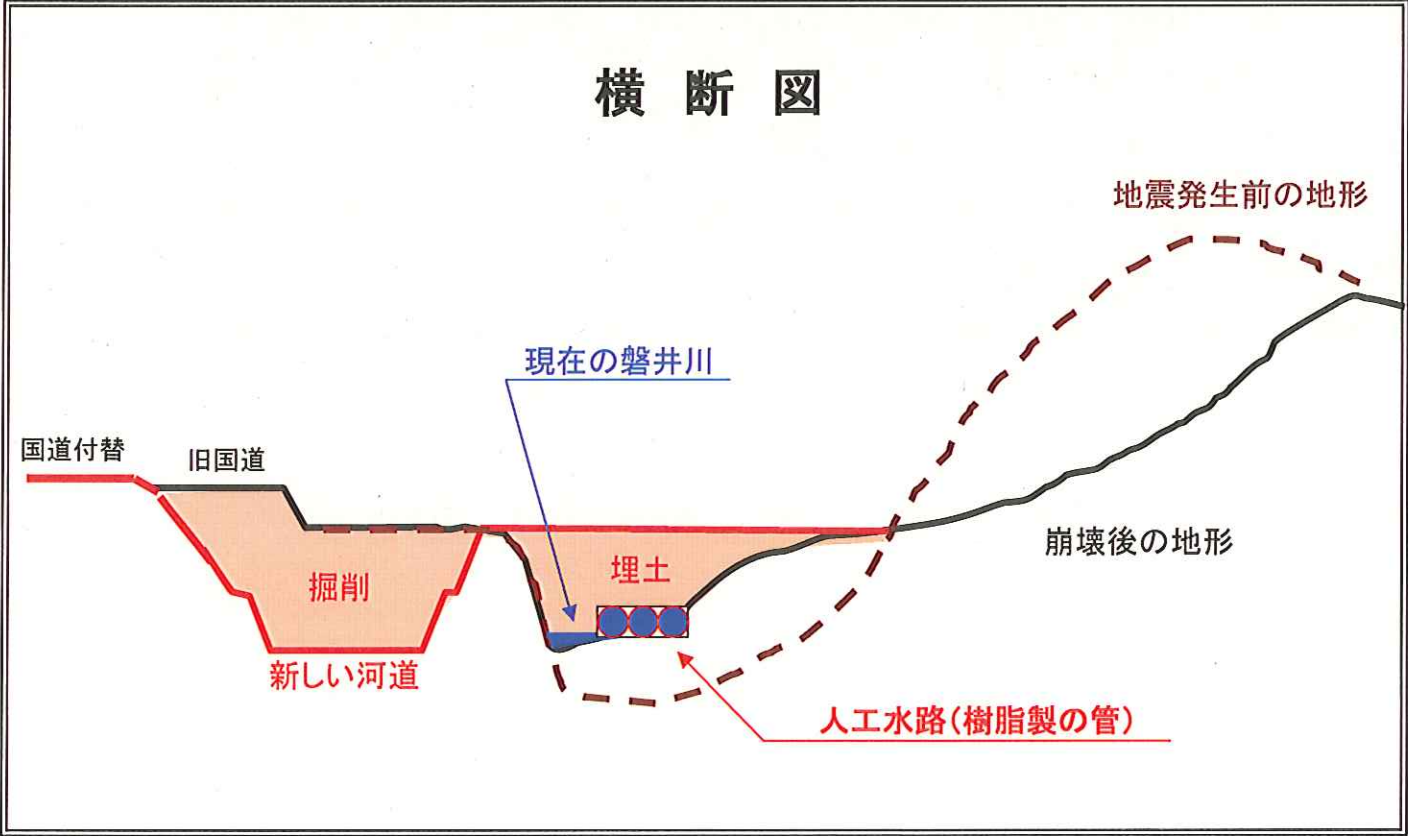
本復旧着手前(平成20年8月撮影)



現在の状況(平成21年8月撮影)



現在の状況(平成21年9月7日撮影)



<市野々原地区河道閉塞対策の経緯>

- 平成20年 6月14日：地震発生（市野々原地区河道閉塞発生）
 平成20年 6月17日：岩手県知事要請により、国直轄事業として緊急対策工事着手
 平成20年 6月21日：暫々定断面（下幅6m、上幅12m）の水路完成・通水
 平成20年 7月 5日：暫定断面（下幅12m、上幅20m）の水路完成・通水
 ※10年に1回の洪水を安全に流下させる断面が完成

- 平成21年 1月30日：新しい河道の整備に着手
 平成21年 6月11日：移転家屋1戸の解体着手（6月25日解体完了）
 平成21年 6月15日：国道付替工事に本格着手
 平成21年 6月29日：移転家屋1戸の解体着手（7月22日解体完了）
 平成21年 8月 1日：仮設橋梁設置
 平成21年 8月10日：付替国道L=310m全面供用
 平成21年 9月11日：人工水路へ転流（1次転流）

<今後の予定>

- 平成21年12月上旬：新しい河道の一部へ転流（2次転流） 予定
 平成21年度内 : 新しい河道（下幅20m、上幅40m）が完成 予定
 ※100年に1回の洪水を安全に流下させる断面が完成
 ※アイオン・カスリン台風規模の洪水でも安全に流下可能

<参考データ>

○市野々原地区にできた天然ダムの概要

- 延長 約L=1.6km
 湛水量 約V=110万m³

※地震発生（堰き止め）からおよそ1週間で形成されました。